

分詞

このプリントでは不定詞について学習します。なお、分詞から学びたい方も文型、文型応用、品詞プリントについては、やっておくことを強くお勧めします。

【重要】 本トレーニングで使う品詞の記号

名詞→ < >

形容詞→ []

副詞→ ()

(1) 分詞のかたちと意味

分詞は「V+ing」という形（現在分詞）、また~ed という形や不規則な変化（write – wrote – written の written）をした形（過去分詞）をとります。意味は様々で、(3) 以降において解説します。

(2) 文法上の位置づけ

分詞は、準動詞の一つとして数えられます。準動詞とは、動詞ではないが、動詞の性質を持つものです。平たくいえば「動詞っぽいけれど、動詞ではないもの」です。動詞では無いというと、何詞になるかが問題ですが、分詞の場合、形容詞となります。

準動詞となる他の文法事項としては、前章までに扱った不定詞と動名詞があります。下の図でも、分詞の位置を確認しておきましょう。

準動詞→動詞ではないが、動詞の性質を持つもの（平たく言えば、「動詞っぽいけれど、動詞ではないもの」）

